

タイトル:平成 25(2013)年度 教育セミナー

日時:平成 25 年 9 月 20 日(金)～23 日(月・祝)

場所:東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究 3 階 マルチメディア会議室(304)

「アラブ首長国連邦における連邦立大学の内部質保証の構造と機能 ―UAE 大学を事例として」

中島 悠介 (京都大学大学院教育学研究科)

私が中東☆イスラーム教育セミナーを知ったきっかけは、日本中東学会での配布資料の中に入っていたチラシを目にしたことです。私は湾岸地域の高等教育制度を研究していますが、これまで主に教育学分野のつてをたどってコネクションをつくってきた一方、中東をフィールドにしている研究者とのつながりが弱かったこと、また、自身が関西を拠点にしていることもあり、関東の研究者のネットワークに関心があったことから、セミナーに参加することにしました。はじめは聴講のみの予定でしたが、参加するからにはいろいろ吸収したいと思い、締切直前になって発表することを決心しました。

地域研究をメインとした研究会では初めての発表で、非常に緊張もしましたが、多くの参考になる意見を聞くことができました。また私にとって最も大きかったのは、中東をフィールドにしている研究者の「熱意」に触れることができたことです。教育学の分野では中東をフィールドにしている人の数は決して多くなく、留学や研究・実務等で日常的に関わっている方々のお話から非常に多くの刺激を得ることができました。また高等教育が専門でなくても、地域研究の中で大学が関わってくる事例にも触れることができ、今後の研究の参考にもなりました。

自身の反省としては、発表において自身の研究の背景をあまりお話しすることができず(時間的な制約もありましたが…)、聴衆を置いてきぼりにしてしまったことです。また私自身は「中東を専門にしている研究者にとって大学がどのように見えているのか」について色々な人にお話を伺いたいと思っていたのですが、そのことについてあまり触れることができませんでした。多くの飲み会を設定してくださいましたが、自身の人見知りの性格やスケジュールの都合もあり、それらの機会を十分に活かすことができなかったことが悔やまれます。

それでも、今回参加したセミナーでは貴重な経験をさせていただくことができ、多くのつながりを得ることができました。これらを活かし、今後の自身の研究を発展させていきたいと思います。ありがとうございました。